

「釜ヶ崎は江戸時代からあったのか」という質問あり

地名としては ?、人の住む町としては ×

## 裏面の地図、見づらいですが、楽しんでください

最近の夜間学校ニュースは、明治・大正と古い話が続いたせいか、「釜ヶ崎は、江戸時代にもあったのか」という質問がありました。

この一つの質問は、二つの質問が含まれています。一つは、釜ヶ崎という地名が、江戸時代からあったのかという質問。もう一つは、江戸時代から今のように簡易宿泊所が多くあり、人が住んでいたのかという質問。

裏面に二つの地図があります。上の方の地図が江戸時代の様子を表したものです。薄く見えるのは現在の地図です。それによると、今宮村の集落は、戎神社や広田神社の周辺にあったことが、分かります。今宮村は、今の環状線を越えて南にも広がっているのですが、人家はほとんどなく、畑地であったということなのです。

ですから、人が多く住む地、簡宿の多くある町としての釜ヶ崎は、江戸時代にはありませんでした。では、地名としての釜ヶ崎はどうかというと、江戸時代にも存在したようですが、定かではありません。地名の始まりは、定かではありませんが、終わり

はハッキリしています。

1893(明治26)年に大阪鉄道(現大和路線、以前の関西本線)が営業を開始します。今宮村は、線路によって北部と南部に二分されたのですが、今宮村字釜ヶ崎も二分されました。そして、北部は、1897(明治30)年に大阪市域に編入され、南区の一部となりました。

南区の釜ヶ崎は、1900(明治33)年の町名改正で水崎町となり、地名としてはなくなりました。

裏面下の地図が、市域に入らなかった今宮町(大正6年に村から町になる)の大正10年の様子を示していますが、左上に字水渡、その右に字釜ヶ崎と記されています。しかし、この翌年、1922(大正11)年に町名変更があり、釜ヶ崎は、甲岸、東入船、西入船の三町名に分割して含まれることになり、町名としての釜ヶ崎は、完全に

なくなりません。では、なぜ、今も釜ヶ崎というのでしょか。大正15年に「宿屋営業取締規則」で、「木賃宿」を「簡易宿」と呼び変えると同時に、営業地が指定されました。指定地の中に東入船、西入船が含まれています。木賃宿密集地としての釜ヶ崎は、当時から有名であったということになります。(アレ、今回は生保の生の字も無)

大阪西成区萩之茶屋1-9-7 釜ヶ崎日雇労働組合気付 釜ヶ崎夜間学校 発行



ひだり ちず す おおさかと  
**■ 左の地図は、「まちに住まう一大阪都**  
 しじゅうたくし はっこう おおさかし へんしゅう ざいだんほう  
**市住宅史**（発行：大阪市。編集：財団法人  
 じんおおさかと しきょうかい おおさかし と しじゅうたくし へんしゅう  
 人大阪都市協会大阪市都市住宅史編集  
 いんかい はっこうび へいせいがん ねん がつ にち  
 委員会。発行日：1989（平成元）年4月1日）

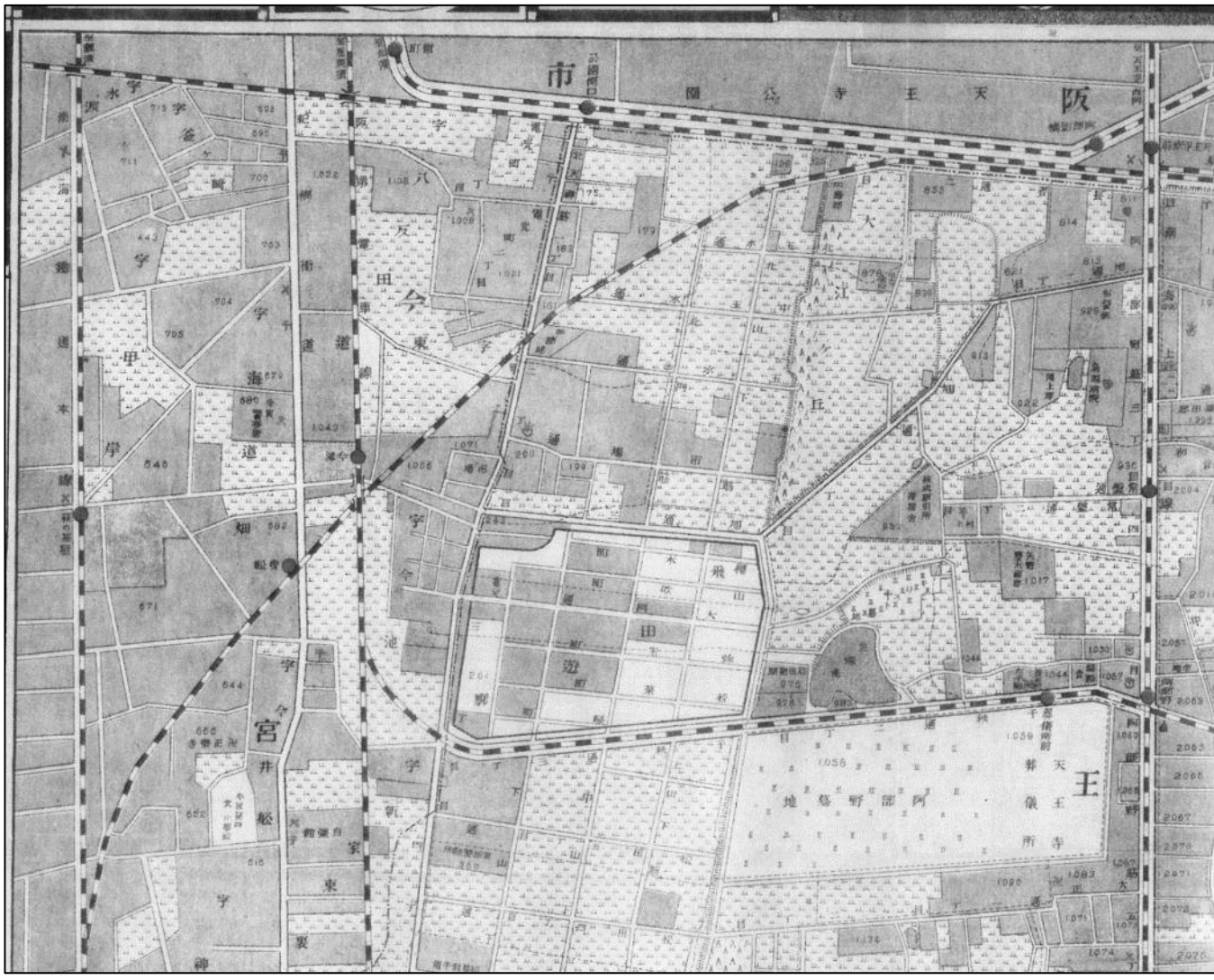
という本の特別付録として付けられてい  
 た地図の部分紹介です。

「特別付録地図解説」によれば、「現在の  
 おおさかし ちいきちず うえ えどじだいこうき おお  
 大阪市地域地図の上に、江戸時代後期の大  
 さか と しゅうかん せいみつ ふくげん  
 阪の都市空間を精密に復元したもの」だ  
 ということです。

うっすらと見える新世界の位置から分  
 かるように、今の J R 新今宮駅より南  
 は、家もほとんどない畑地だったようです。

■下の地図は「阪南郊外精図」で、1921（大  
 しょう ねん がつ にちづ おおさかしがいてんのうじ  
 正10）年6月30日付けで、大阪市外天王寺  
 むら あべのすじ ちようめ しょうざい はんなんぶん かきよう  
 村阿倍野筋8丁目に所在した阪南文化協  
 かい はっこう  
 会が発行したものです。

げんざい どうぶつえんまえしやうてんがい ちず きたてん  
 現在の動物園前商店街（地図では北天



じんすじ ちようめ ちようめ  
 神筋1丁目・2丁目の  
 ひょうじ ひがし てんのうじ  
 表示)より東の天王寺  
 むら ちず りんせつ  
 村の地図ですが、隣接の  
 いまみやちよう すこ ふく  
 今宮町も少し含まれて

おり、電光町、字釜ヶ崎、  
 でんこうちよう あざかま さき  
 おり、電光町、字釜ヶ崎、  
 あざみずわた ちめい いまみやけい  
 字水渡りの地名、今宮警  
 さつしよ いまみやだい しょうがっこう  
 察署、今宮第4小学校

げんざい はぎの ちゃや しょうがつ  
 （現在の萩之茶屋小学  
 こう じきょうかん とびたゆうかく  
 校）、自彊館、飛田遊郭  
 などの表示があります。

畑地と住宅地の区分が  
 見えます。電光町には、  
 でんこうしや まつちこう  
 「電光舎」という隣寸工

じやう しゃたく  
 場と舎宅がありました。